



豪雪に強いまちづくりを

村形 昌一 議員

町民は大変な思いをしていると認識している

町長



日ごとに巨大化する雪捨て場（四日町）

豪雪を振り返り
 町長 どのような問題があったか。降雪が早く連続して降り続き、近年にない低温になった。このような気象状況から道路は狭くなり、路面は固く凸凹になって車の通行に支障が出た。また、流雪溝に水が流れないこともあった。土日に流雪溝の通水時間を延長するよりは、降っているときに水を流してほしいとの声がある。

散水型消雪道路
 町長 国交省との話し合いが必要だ。老朽化したら機械除雪にしていくとの事だったが、町長 消雪道路は力のない高齢者や女性に有効な施設なので、なるべく延命していく方針にした。道路工事時に消雪道の経年劣化による雪解け不良個所の対応を意識して行ってほしい。町長 対応したい。

排雪場の拡充を
 町長 今年は閉鎖が相次いだ。町長 降雪量が昨年の1・5倍で準備した排雪場があつという間に一杯となった。四日町に設置できないか。町長 今年新たに四日町河川敷に設けた。町長 今後は、町長 これからも新たな雪捨て場を探していく。新町・今宿、小菅、駒籠に設置するためには、



老朽化していく消雪道路（雪が消えずに残って道を狭くしている）

流雪溝新設
 町長 これまでは面的整備だけですが、今後は町が直接水利権の取得をしなければならぬ。課題はどうなっている。町長 水利権の取得に多大な時間と労力が必要。県との協議も時間を要す。土地改良区の水を使わせてもらえないか。町長 水量が足りないの以最上川からの取水を基本路線としている。町長 どうしていくのか。町長 新庄河川事務所に水利権取得に関する指導をお願いしている。

町の考えを問う



5議員が一般質問

遠藤 宏司 議員

- ◆全町民が、この町に住み続ける価値があると実感できる施策はないか

15ページ

一般質問とは…
 議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では5議員が一般質問を行いました。

大山 二郎 議員

- ◆町の諸課題を問う
- ◆小中学生の学力と部活動の状況は

16ページ

村形 昌一 議員

- ◆豪雪に強いまちづくりを
- ◆排雪場の拡充が必要ではないか
- ◆流雪溝新設の課題は

13ページ

小玉 勇 議員

- ◆国に惑わされず町独自の考え方でまちづくりを進めるべき

17ページ

関 幸悦 議員

- ◆流雪溝の整備
- ◆大石田町鳥獣被害対策実施隊の拡充を図れ
- ◆福祉バスの見直しは

14ページ